

はと みね 鳩の峯

No. 51
2019
3.31

平成31年3月31日



主な内容

天草口ザリオウオーク……	2P
成人式……	2P
子ども節分会……	2P
おね火……	2P
連載……	3P
還暦同窓会……	3P
100年の歴史に幕……	3P
西海岸の自然に感謝……	4P
編集後記……	4P

天草口ザリオウオーク

～早春の高浜路～

高浜の名所・旧跡や西海岸の景観を思い思いの足どりで楽しみながら歩く、「天草口ザリオウオーク」が、2月17日に開催されました。

町内外から、2歳から上は78歳までの老若男女、約100名が参加しました。

当日は、少し肌寒かったものの、十三仏公園、白鶴浜や「白磯旅館」「上田家住宅」をめぐる6.5キロの早春の高浜路を楽しんでいました。

爽やかな参加者の笑顔が印象的でした。

天草口ザリオウォーク



上田陶石付近



白鶴浜・水天宮



旧道389号トンネル

2月3日、隣峰寺本堂において「子ども節分会」が行われました。この行事は子ども達にお寺をもっと身近で親しみやすい場所にしたという思いで始められたもので、30年以上続いています。今年も最初は皆でお経を唱え、

子ども節分会



高浜地区の新成人の皆さん

1月3日、高浜コミセンにおいて平成10・11年生まれの方たちの成人式が開催されました。

成人式

「福は内」「福は内」のかけ声で豆まきが始まりました。その後は「ひよっここの会」の読み聞かせや紙芝居がありました。

最後は恒例の『大数珠廻し』。10メートルもある大数珠の周りに子ども達に混じって大人も参加。太鼓の合図とともに大玉を握った人にはお菓子が当たり、皆が笑顔になった節分会でした。



大数珠廻し



おね火

1月6日(日)天草中学校グラウンドで、七日正月の伝統行事「おね火」が行われました。孟宗竹や川竹で組み上げた櫓の中に、家庭から持ち寄られた正月飾りも加わり、亥年生まれの3名の方が火入れを行いました。

また、恒例のぜんざい会もあり、生活部の皆さんで美味しいぜんざいも振る舞われました。参加者は、ときおり竹の弾ける音に驚きながら一年間の無病息災(家内安全)を願いました。



年男による火入れ

連載

その⑧

京都府立大学 文学部 歴史学科 東 昇

お彼岸と仏生会

春は仏教の行事が続きます。お彼岸は春分の日前後ですが、江戸時代2月に行われていました。200年前の高浜では、団子をお供え、彼岸7日の間に庵・寺へ行き読経、説法を聞くとあります。また釈迦入滅の2月15日には、団子・粟飯などを供える家もあるが、「いり花」という粉を煎ったものを供えていました。同じ日に八幡神社の春の豊年を祈る祭の御幸もありました。4月8日は釈迦が誕生した仏生会、灌仏会です。釈迦の産湯は甘茶で、千種の花で屋根を葺いた花御堂を作ります。その柱に「千早ふる卯月八日は」という和歌を甘茶で書いて張り、虫除のまじないにしています。150年前の仏生会では、庵・寺へお参りして甘茶を釈迦像へかけるが、これを「あべ汁」といって目口鼻耳へ塗る。そうすれば年中、汁がかかった所は痛くならないとあります。「いり花」、虫除けのまじないや「あべ汁」は、現在の高浜にも伝わっているのでしょうか。

還暦同窓会

藤本 徹

1月2日、昭和34年度生まれの「還暦同窓会」を行いました。

38名の参加をいただき、当日は、早朝より高浜八幡宮に集まり、全員で参拝し宮司さんよりお祓いを受けました。

その後、隣峰寺にて5名の物故者の供養を済ませ、ユーモアのあのお話をお聞きしながら、小中学校の思い出が

次々に思い出されました。

その頃には久しぶりの再会に懐かしさもあり、みんな手を取り合って喜んでいました。

やはり同窓生は、離れていて、数十年ぶりに会っても、すぐ、昔に戻ることができるといふ強いつながりを

覚えました。

この気持ちを忘れず、「数年後もまた同窓会をやろう」という声に地元在住の人たちで企画した幹事のみんなども喜んでおりました。

名残惜しさもありましたが、盛況のうちに還暦同窓会を終わりました。



100年の歴史に幕

昨年12月6日、高浜中心街で営業を続けていた「新田商店」が100年近くの歴史に幕を閉じました。店主の新田百合香さんは、「長い間、高浜の皆様に応援して頂き助けられました。皆様に感謝しております。」と振り返っておられました。閉店は残念なことですが、時代の変遷はいたし方ないのかもしれない。ただ寂しい限りです。



新田商店付近

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動
に有効に活用させていただきます。

香典返し

清水 美智子様
(故・清水 喜代秀様)上河内

ふるさと応援寄付金

大塚 利恵子様(千葉県)
上杉 国博様(岐阜県)
水野 和敏様(熊本市)
清見 直仁様(埼玉県)
北村 康平様(東京都)
西岡 智彦様(東京都)
藤森 奏子様(長崎県)
鈴江 悠様(大阪府)
宮谷 孝幸様(福岡県)

高浜地区

(平成31年3月1日現在)

人口 1,126人

男 513人

女 613人

世帯数 604戸

高齢化率(65歳以上)
598人(53.1%)

西海岸の自然に感謝

黒沢 省吾

神奈川から移住して、今年の2
月で7年目になります。当初4人
家族だったのが2人増え(中3、中
1、5歳、2歳の4兄弟)賑やかな
6人家族になりました。

どこに住んでいても大変さは大
なり小なりありますが、天草、特に
この西海岸の自然の素晴らしさに
触れ、癒されるこ
とも多いです。ま
た、温もりのある
地域での子育て環
境にも感謝してい
ます。

仕事面や地域活
性、人口減など課
題は沢山あると思
います。子どもた
ちがこの土地から
一度は巣立って
行ったとしても、
戻って来たいと思
える場所・戻って
来て楽しんで生活
が出来る場所・
色々な可能性があ
る場所なんだとい



にこやかな黒沢家の皆さん

う、選択肢の一つになるように
時々家族で話し合ったりしていま
す。先ずは自分たちが出来る事を
模索中ではあります。
これからもどうぞよろしくお願
い致します。

編集後記

巷ではインフルエンザが流行し
ています。

先日、小学校の授業参観に行っ
て来ました。全校児童の3割ほど
が休んでいる様でした。

家・学校・職場での感染拡大を防
ぐには、「手洗い」「うがい」「マスク
の着用」等を徹底するとともに、適
度の湿度の保持や十分な休養とバ
ランスのとれた栄養摂取が必要で
す。また、適度な運動も大切ではな
いでしょうか。

表紙でも紹介しました「天草口
ザリオウオーク」の様に楽しみな
がら歩く、心身ともに健康的な運
動が良いでしょう。

春の足音が、そこまで来っていま
す。耳を澄ますと小鳥の囀りが、
ポカポカと温かい春が待ち遠しい
今頃です。

